

食品ロスの削減と生活困窮者等の支援のために 東海村フードバンク「きずなBOX」



フードバンクとは、事業者や個人からまだ食べられる食品を寄付してもらい、支援を必要としている世帯や施設へ提供する活動です。村ではフードバンクを推進するため「きずなBOX」を設置していますので、皆様のご協力をお願いします。

【問い合わせ】地域福祉課地域福祉・地域医療推進担当 (☎ 282-1711 内線 1132)

寄付できる場所

▽東海村役場総合案内
(役場行政棟1階) ▽総合福祉センター「絆」 ▽東海村商工会 ▽イオン東海店
(毎月最終日曜日に3階エレベーター前で実施)



寄付できる食品

▽インスタント麺 ▽米 ▽乾麺 ▽缶詰 ▽レトルト食品 など
※賞味期限がおおむね2か月以上で常温保存できる食品に限ります。



寄付できない食品

▽生鮮食品 (肉・魚・野菜等)
▽冷凍食品 ▽生麺 など
※要冷蔵の食品は、賞味期限が2か月以上であっても寄付できません。



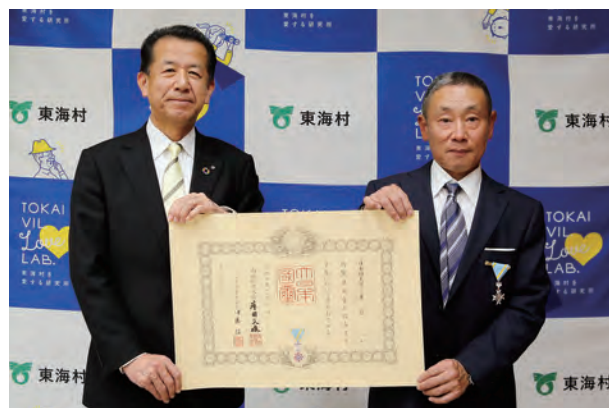
村内等で行われた活動やイベントを紹介します ず〜むあっぷ「まちの風景」

【写真左から】永井さん、山田村長、鈴木さん



長 年にわたり消防力の強化・充実に貢献 第41回危険業務従事者叙勲「瑞宝双光章」を受章

3月8日、第41回危険業務従事者叙勲で「瑞宝双光章」を受章した元ひたちなか・東海広域事務組合消防司令長の鈴木守さん(石神外宿)と元東海村消防司令長の永井一文さん(村松)が村長へ報告に訪れました。お二人は長年にわたり消防・防災業務に従事し、消防組織の充実強化に尽力されたことが評価され、今回の受章に至りました。受章を受け鈴木さんは「名誉な章をいただきありがとうございます。今後も皆さまに尽くせるよう頑張っていきたいです」、永井さんは「長年にわたり消防業務を勤め上げることができたのも皆さまのおかげです。受章できたことを感謝しています」と話しました。



長 年にわたり国民の安全な生活を守るために尽力 第41回危険業務従事者叙勲「瑞宝単光章」を受章

3月8日、第41回危険業務従事者叙勲で「瑞宝単光章」を受章した元陸上自衛隊准陸尉の重原一さん(船場)が村長へ報告に訪れました。重原さんは、大規模災害時の支援活動に尽力したほか、駐屯地の警備体制の維持等に貢献したことが評価され、今回の受章に至りました。受章を受け重原さんは「将来を担っていく若い世代がいつまでも平和で美しい日本を守っていけるよう、陰ながら応援していきたいと思います」と話しました。また、元茨城県警察警部補の青山要さん(白方中央)も、長年にわたり公共の安全と秩序の維持に尽力し、犯罪防止等に成果をあげたことが評価され、同章を受章しています。



犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ 第73回「社会を明るくする運動」作文コンテスト

3月21日、罪を犯した人たちの更生への理解を深め、犯罪や非行のない社会を目指す「社会を明るくする運動」の作文コンテスト(主催:「社会を明るくする運動」茨城県推進委員会、法務省水戸保護観察所)で、「茨城県教育長賞」を受賞した中丸小5年(訪問当時)の高柳祐梨奈さんが、村長へ報告に訪れました。受賞を受け高柳さんは、「学校で日頃から行っている活動を、犯罪や非行をした人の立ち直りに結び付けられたらよいなと思い、作文を書きました。安心して暮らせる社会にするためにこれからも活動を続けたいと思います。賞をもらえてうれしいです」と話しました。

【写真左から】田代さん、山田村長、近藤さん



小 中学生の「今度は私たちが力になりたい」という思いを届ける 「令和6年能登半島地震」への義援金

2月26日、役場で、東海中2年(訪問当時)の近藤千華さんと東海南中2年(同)の田代恭子さんから山田村長へ、令和6年能登半島地震に対する義援金(41万1,128円)が受け渡されました。この義援金は、中学校生徒会の呼び掛けにより児童・生徒から集められたものや、村内での募金活動によるもの。多くの方による募金への感謝のほか、近藤さんは「いろいろな形で石川県の方を支援できればと思いました」、田代さんは「東日本大震災では石川県の方にも助けていただいたと聞き、今度は私たちが力になりたいと思いました」と話しました。義援金は日本赤十字社を通して、被災地の生活支援活動などに役立てられます。



日々の喜びや感謝を作文で表現! 令和5年度「心の輪を広げる体験作文」で審査員特別賞を受賞

2月29日、茨城県主催の令和5年度「心の輪を広げる体験作文」において、審査員特別賞を受賞した益子久子さん(村松)が、村長へ報告に訪れました。「出会い、ふれあい、心の輪 - 障害のある人となない人との心のふれあい体験を広げよう -」のテーマの下、事故に遭った益子さんが、その後、さまざまな人たちと関わる中で、喜びや感謝を表現した作文が評価され、受賞に至りました。過去にも同賞を受賞している益子さん。受賞を受け益子さんは、「皆さんに支えられ、受賞できたことに感謝しています。これからも作文を書いて思いを伝えていきたいです」と話しました。

【写真左から】菊池玲子さん(指導者)、笛田さん、牛久保さん、山田村長



ホ ッケー「U-12オールスター戦」に出場しました! 「U-12 Hockey Dream Camp」で優秀選手に選出

3月7日、東海ホッケースポーツ少年団に所属する、舟石川小6年(訪問当時)の牛久保心惇さんと笛田妃華さんが、村長を表敬訪問しました。お二人は、日本ホッケー協会主催のU-12 Hockey Dream Campで優秀選手に選出され、3月2日・3日に大井ホッケー競技場(東京都)で開催されたU-12オールスター戦に出場しました。牛久保さんは「たくさんの人とハイレベルな試合ができて良かったです」と試合の感想を、笛田さんは「U-15でも選手として選ばれるように、これからも頑張りたいです」と意気込みを話してくれました。今後の活躍を楽しみにしています。